

低温及び高温雰囲気での引張・曲げ・圧縮試験

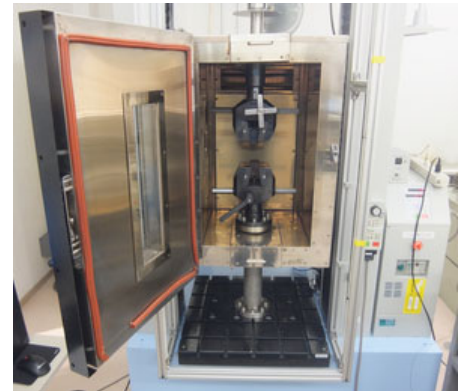
1.引張試験機 (TGI-100kN)による引張・曲げ・圧縮試験の特徴

- 恒温槽を使用することにより低温及び高温雰囲気(-150℃～ 230℃)での試験が可能
(任意温度設定可能、温度記録チャート付 サンプルの実測温度が必要な場合は別途お申し付けください)
※さらに高温での引張試験については、[HRM-1215「高温引張試験」](#)をご参照ください。
- ネジ式 (インストロン式) であり、応力増加による**一定速制御**载荷

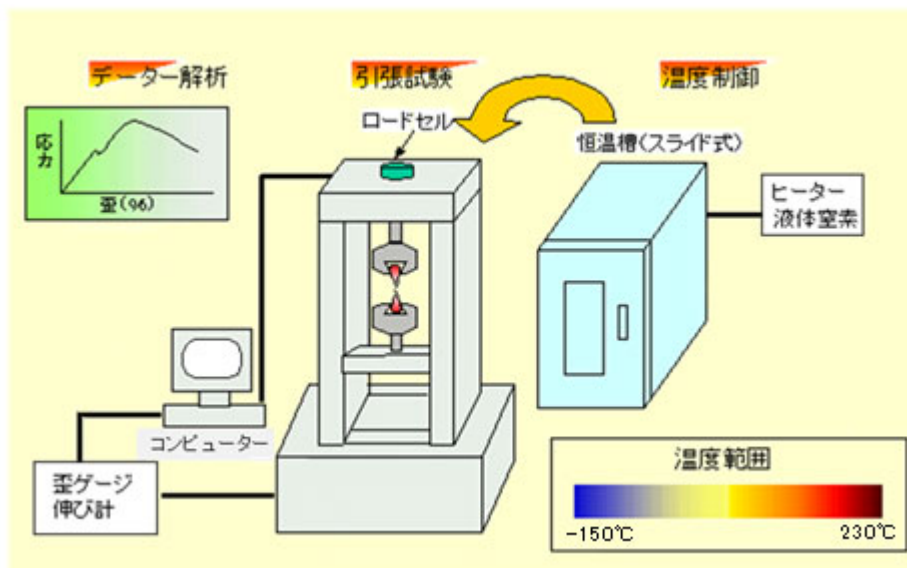
2.装置仕様

装置 : ミネベア製 TGI-100 kN引張試験機
 荷重レンジ : AUTO (1000 N、100 kN)の2種類
 载荷機構 : ネジ式 (インストロン式)
 ストローク : 恒温槽使用は500mm以下
 恒温槽寸法 : 高さ 600 mm、幅380 mm、奥行 390 mm
 試験可能温度範囲 : -150℃～230℃ (恒温槽内)
 -196℃ (液体窒素内)

※但し試験内容、サンプルにより温度制約があります。



恒温槽を引張部へスライドした時の写真



TGI-100 kN引張試験機 (温度制御型) の装置構成

3.試験材寸法

引張試験	板材	幅 Max 60 mm 厚み Max 16 mm
	丸棒・パイプ	Min φ 4mm ~ Max φ 22 mm
曲げ試験		支点間距離 Min 5 mm ~ Max 200 mm
圧縮試験		φ 150 mm以下(1000N: φ 100mm以下)

《試験対象材料》

鉄鋼材
 アルミニウム材
 プラスチック材 等